

平成 28 年第 9 回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成 28 年 9 月 29 日（木） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 22 分

○場 所 三浦市教育委員会教育委員室

○次 第

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 署名委員の指名

曾 根 崇 子 委員、 下 里 矩 生 委員

4 教育長報告

(1)平成 28 年第 3 回三浦市議会定例会について

(2)平成 28 年 9 月の行事等について

(3)平成 28 年 10 月の学校行事等について

5 報告事項

(1)平成 28 年 8 月の後援名義等使用について

(2)平成 28 年第 3 回三浦市議会定例会の状況について

(3)平成 28 年度全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果について

6 その他の事業について

(1)第 46 回三浦市学校保健大会の開催について

(2)三浦市指定重要無形民俗文化財「第 42 回いなりっこ発表会」の開催について

(3)神奈川県指定無形民俗文化財「菊名の飴屋踊り」奉納上演について

(4)第 62 回三浦市文化祭の開催について

(5)第 38 回市民スポーツ大会の開催について

(6)第 62 回三浦市総合体育大会の開催について

(7)第 52 回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催について

(8)第 37 回南下浦市民センター公民館フェスティバルの開催について

(9)三浦市社会教育講座 「肩こり・腰痛すっきり体操講座」の開催について

(10)第 35 回初声市民センターまつりの開催について

(11)三浦市社会教育講座 「歴史講座」 ～明治・大正期の三浦～ の開催について

7 その他

8 閉 会

○出席委員（５名）

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	菊 池 恵
委 員	曾 根 崇 子
委 員	松 尾 恒 廣
委 員	下 里 矩 生

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	大 西 太	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	五十嵐 徹	学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫
文化スポーツ課長	堀 越 修 一	南下浦市民センター館長	小 川 史 郎
初声市民センター館長	見 上 正 行	青少年教育課長兼図書館長	安 藤 宜 尚

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー 長 島 正 紀

○傍 聴（０名）

○三壁教育長 会議に入る前に、私の方から委員の皆さんに報告をさせていただきたいと思います。

9 月 30 日付けで菊池職務代理、そして曽根委員におかれましては、4 年間の任期満了ということで、今日が最後の定例会ということになりました。

特に曽根委員さんにおかれましては、会議の始まる前に市長・議長に対して退任のあいさつをしてまいりました。

後ほど退任式がありますので、私からまたお話をさせていただきます。

菊池職務代理についても、また後ほど私の方から細かい話をさせていただきたいと思います。

以上、報告ということで、長い間、ありがとうございました。

○曽根委員 お世話になりました。ありがとうございました。

○三壁教育長 今日はまた、いろいろとご意見をいただければありがたいと思います。

○曽根委員 はい。

○三壁教育長 それでは、始めさせていただきます。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関するみなさまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければお諮りいたします。

前回会議録について、別添「平成 28 年第 8 回三浦市教育委員会定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○三壁教育長 ご異議ないようですので、前回の会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に曽根委員と下里委員を指名します。

○三壁教育長 次に、次第 4 「教育長報告」について、私から何点か報告をさせていただきます。

始めに、議会の関係について報告いたします。

平成 28 年第 3 回定例議会が 9 月 6 日から 28 日まで 23 日間開催され、昨日終了いたしました。一般質問については 3 名の議員から質問があり、決算委員会については大変多岐に亘ってご質問、そして質疑がありました。

後ほど教育総務課長から報告がございますけれども、私の方から決算委員会での話をさせていただきます。

まずは、小中学校の雨漏り等、学校の施設管理について質問をいただきました。

それから、部活動の関係で関東大会・全国大会への出場の状況等、教育委員会のバックアップ・補助等についてや問題行動、相談体制について等の質問がありました。

また、就学援助について、あるいは海洋教育について、特別支援教育について、給食について等、大変多岐に亘っております。

これらの学校関係のほか、社会教育関係でも赤坂遺跡等についての質問がありました。

教育費は 2 時間 5 分に亘って質疑がされましたが、ぜひ予算を付けて三浦の教育を推進していただきたいと発言された議員さんもいらっしゃいまして、大変熱心に学校あるいは教育委員会を応援していただいているという印象を受けました。

総括の時にも市長に対して市全体の予算における教育費の考え方を問う場面もあり、大変目を向けていただいていると感じました。

次に、9 月は様々な出来事がありました。

台風、あるいは猟犬の脱走騒ぎになり学校関係が慌てたり、爆破予告、それから犯人は捕まったようですけれども落書き騒ぎと、あまり私も経験したことがないような月でした。

学校によっては生徒の怪我等心配した案件もございました。

また、行事の中では、今月 17 日に三崎中学校と南下浦中学校の体育祭、18 日が初声中学校の体育祭を実施しました。

3 校同日開催の予定でしたが、初声中学校の吹奏楽部が 17 日の大会に出場したため、翌日となりました。

特に委員の皆さんにもご出席をいただきました。

天気については、17 日は心配なかった一方、18 日は開催中に雨が降ってきましたが、開催時間を早めて実施されたということで、皆さんほっとしておりました。

それから、学校の行事あるいは後ほどその他の事業で報告する社会教育関係について、10 月・11 月は多くの関係事業が予定されています。

その中で特に学校関係では、10 月 7 日・8 日が小学校の修学旅行、10 月 15 日が中学校の駅伝競走大会、10 月 22 日には三崎小学校の運動会、同じ日に名向小学校の名向祭りがあります。

社会教育関係も幾つもありますが、大きなものは 10 月 9 日の市民スポーツ大会と思っています。

小学校の修学旅行の翌日になりますが、両行事とも日程変更が難しく、今回、子ども会を中心に小中学生が市民スポーツ大会にどれだけ参加していただけるのか、少し心配です。

後ほど、それぞれの事業について報告がありますが、私からの教育長報告は以上で終わります。

○三壁教育長 ただいまの報告について、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 また報告がありますので、その時にお聞きになっていただいても結構だと思います。

それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)平成28年8月の後援名義等使用について報告をお願いします。

○増井教育総務課長 それでは、平成28年8月の後援名義等の使用についてご報告いたします。
議案・資料1ページ、資料1をご覧ください。

平成28年8月に資料記載の学校教育課関係の申請1件、文化スポーツ課関係の申請10件について、承認をいたしました。

内容等につきましてご質問・ご不明な点がございましたら、担当課よりご説明いたします。

○三壁教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 よろしいですか。それでは次に、(2)平成28年第3回三浦市議会定例会の状況について、報告をお願いします。

○増井教育総務課長 それでは、平成28年第3回三浦市議会定例会の状況についてご報告いたします。

議案・資料の3ページ、資料2をご覧ください。

第3回定例会は、9月6日（火）から28日（水）までの日程で開催されました。

市からの提出議案は、お手元の資料にあります議案第54号までのほかに、資料をお配りした後の追加議案として第55号、56号が提出、こちらは教育委員さんの任命について同意を求めるといことについてでございます、こちらを追加いたしまして、合計15件、報告は4件でございました。そのうち教育委員会関係の案件は、55号、56号を含めまして議案4件、報告1件でございます。

関連議案につきまして、順番にご説明いたします。

議案第43号 平成27年度三浦市一般会計決算の認定についてでございますが、決算審査特別委員会に付託されまして、9月14日（水）から21日（水）までのうち5日間審査が行われております。内容等、ご質問につきましては、先ほど教育長報告の中で教育長よりご報告させていただいたとおりでございました。

議案第52号 三浦市一般会計補正予算（第2号）については、8月の定例会でご審議いただいたものでございます。

内容をもう一度ご説明いたしますと、歳入のうち、南下浦市民センターの土地家屋等貸付収入の増額補正、教育費の歳出のうち、学校管理費を増額いたしまして、小学校義務教育施設維持管理事業の需用費の不足を補い施設の修繕を行うもの、南下浦市民センター費を増額し、南下浦市民センター維持管理事業の賃金の不足を補うものでございました。

追加いたしました議案第55号と56号は、教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございました。任期の満了をお迎えになられます菊池委員の後任として引き続き同委員を、曾根委員の後任として玉井氏を任命することについて、市議会の同意を求めるものでございました。

すべての案件につきましては、28日の本会議で可決及び同意をいただいております。

関連報告は、報告第8号 平成27年度三浦市一般会計継続費精算報告書についてでございます。

内容といたしましては、（新）三崎中学校屋内運動場及び武道場の建設工事の精算額についての報告を行ったものでございます。

そのほか、総務経済常任委員会並びに都市厚生常任委員会の協議会におきまして、議会に提出いたしました平成28年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価報告書についてご説明をいたしております。

また、今議会の中で、一般質問は9月6日（火）から8日（木）の3日間で行われまして、11名の議員から質問がなされております。

そのうち、教育委員会が答弁いたしました案件3件の内容について、ご報告いたします。

1件目は、自由民主党の出口正雄議員からの質問でございます。

内容は、青少年犯罪についてございまして、昨今の青少年による犯罪報道をうけて、市内の青少年の深夜徘徊等について教育委員会が把握している数や、地域の力を活用し犯罪を未然に防止するために教育委員会が行っている地域との青少年課題の共有方法についてのご質問でございました。

答弁でございます。深夜徘徊等について把握している状況をお答えいたしまして、地域との情報共有手段として学校が地区懇談会を行っていること、その他にも、教員と青少年指導員やスクールガード等との情報交換会を行うなど、地域のたくさんの目で子どもたちを見守る活動を行っている旨をお答えいたしております。

2件目は、日本共産党の布川照美議員からの質問でございます。

内容は2点ございまして、1点目は、休止しております三浦市水泳プールの再開を要望するものでございました。

2点目は、学校給食について、無償とされている義務教育の一環として提供されていると議員はお考えでございますので、給食費の負担がなくなるように市として国に働きかける意思は有るか無いかということをお問うものでございました。

1点目につきましては、三浦市水泳プールについて、休止に至った理由と代替措置についてご説明をし、現状では休止を撤回する状況にないこと、再開する場合には大規模な改修工事が必要となるということをお答えいたしました。

議員からは、再開を望む声が大きく、市民の健康増進にとって有益な施設であるため、再開をするよう要望がございました。

2点目は、学校給食の無償化に関する働きかけにつきまして、国の法改正が必要な事項でございまして、市独自の判断は難しいと考えることから、他自治体と今後意見を交わしていきたい旨お答えをいたしております。

3件目は、みうら市政会の神田眞弓議員からのご質問です。

姉妹都市交流事業として実施しておりますウォーナンプール市への青少年派遣の状況についてご質問をいただきました。

応募や参加の状況、自己負担金の金額の変遷をお答えいたしまして、今後も事業を継続していきたいという考えを教育委員会として持っているということをお話しいたしております。

議員からはその後、青少年の育成にとって大事な事業でありこれからも続けてほしいこと。

また、経済的理由のために貴重な機会をあきらめる青少年が出ないよう、みうらっ子育成寄金等を活用し、自己負担金を軽減することが必要ではないかというご意見をいただいております。

平成 28 年第 3 回定例会に関する報告は、以上でございます。

○三壁教育長 大事な報告ということで、詳細な報告が終わりました。

もうすでに委員の皆さんはご覧いただいていると思いますけれども、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○松尾委員 ウォーナンプールの国際交流については、非常に良いという評価を私どももさせていただきましたが、県域で国際交流・姉妹都市交流を実施していない市町村はありますか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 実施していないところと言いますか、我々との比較対象にしているところといたしまして、継続的に実施している市町村が実はずっと少ない状況でございまして、横須賀市は欧米の 4 つの市町に 2 人ずつ派遣する取組を毎年行っております。

あと、平塚市と藤沢市はアメリカへ 10 名程度派遣している状況で、あとは毎年ではなかったりとか、あとは国際交流協会のようなところが主体となって実施しているところでは、毎年中高生等に限らず、例えば市の柔道協会の人が行くとか、そういうテーマを決めて行っているところはありますけれども、青少年の派遣を継続的に実施している市町村は、いま申し上げたような現状です。

○松尾委員 ありがとうございます。

○三壁教育長 実施していないところの把握ではなく、実施しているところと比較しながら三浦の事業を進めるということで、松尾委員、よろしいですか。

○松尾委員 はい、結構です。

○三壁教育長 他にございますか。

よろしいですか。それでは、次に、(3)平成 28 年度全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果について、報告をお願いします。

○五十嵐学校教育課長 それでは、資料としましては別にお配りをしております資料 3、平成 28 年度全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果についてをご覧ください。

まず、予めこの調査結果の公表についてご報告させていただきますが、文部科学省並びに神奈川県教育委員会がこの調査結果を公表するのが本日の午後 5 時となっております。

したがって、報道としては早ければ今日の夜、明日の朝刊等に扱われることになろうかと思っております。

なお、三浦市といたしましては、10 月 5 日に本調査の結果をホームページにて公開したいと考えております。

また、各小中学校でそれぞれの学校の調査結果を含め、保護者への結果の公表は10月12日と考えております。

それでは中味について説明をさせていただきたいと思います。

まず1ページでございます。

1 調査の概要と目的については、こちらに書かれているとおりでございますが、教育施策の成果、課題の検証、その改善を図ることが1つの目的、それから各学校における児童生徒への教育指導の充実、学習状況の改善に役立てるということが大きな目的となっております。

2 実施状況につきましては、市内の全小中学校の小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されたものでございます。

(6) その他をご覧ください。

これからご説明する調査結果につきましては、序列化、それから過度な競争につながらないようにするために、各学校の結果については市としては公表はいたしません。

市全体の結果として公表するものでございますので、ご承知おきいただければと思います。

続きまして、3 三浦市 小学校の結果をご覧ください。

(1) につきましては、今回実施しました調査結果の教科別の平均正答率を三浦市・神奈川県・全国で比較したものでございます。

概要としましては、教科別の平均正答率については、全国と比べ、これまで同様、依然としてやや低い傾向がみられるところでございます。

特に今回につきましては、国語が若干低いことが特徴としてみられると思います。

ただ、ここ数年の経過をみますと、その差は徐々に縮んできているというところかなと思っております。

続きまして、(2) 各教科の概要といたしましては、国語・算数それぞれ、おおむね理解している内容を○、課題がある内容を●として示させていただいておりますので、ご覧ください。

続きまして、右側のページ(3)でございますが、児童質問紙調査の結果概要として、こちらについては、児童に生活の状況等を含めて質問した内容について、特徴的なものを示させていただいております。

先ほどの各教科の概要と同様に、○が90%以上の児童が肯定的な回答をした項目、●につきましては全国平均に比べ10%以上の差がある項目として示させていただいております。

こちらにつきましては、後ほど中学校も出てきますけれども、小・中で共通している三浦市の特徴として、何点か出ているところでございます。

まず○の部分では、「学校で、友達に会うのが楽しい。」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」というような項目については小学校・中学校とも共通して肯定的な回答が目立っており、逆に小学校・中学校同様に課題として捉えられる部分が、例えば「学校が休みの日に、1日あたり1時間以上勉強をする。」、「家で、自分で計画を立てて勉強している。」、「家で、学校の授業の復習をしている。」、これらについては小学校・中学校とも全国と比較すると、課題がある項目として示されております。

(4) は、調査結果から分かることということで、こちらに示させていただいておりますが、特に三浦市の児童と全国と比較して割合が高いところでは、「書くことは難しい。」と回

答した児童の割合が全国と比べると高く、これまで各小学校で行われている各指導の成果等が表れていると思われるところです。

また、平日のテレビの視聴時間、ゲームをする時間、携帯電話・スマートフォンを使用する時間、これらについてはやはり依然として全国と比べて長いですが、経年の経過をみますと、徐々にこれらの時間は少なくなっていると言えると思っております。

続きまして、4 三浦市 中学校の結果をご覧ください。

こちら作りとしては小学校と同様です。

(1) につきましては教科別平均正答率となっております。

こちらにつきましては小学校と同様に全国と比べやや低い傾向があります。

特に数学が低いことが特徴と言えると思っております。

ただ、こちらに書いてあるのは市内3校の平均点ですが、各校それぞれ特徴がございまして、学校によってはこれまでの取組の成果が表れているところもございます。

(2) につきましては各教科の概要で、国語・数学について書かせていただいておりますので、こちらをご覧くださいだと思います。

(3) の生徒質問紙調査の結果概要につきましては、先ほど主に小中学校共通する回答結果というところでお話させていただきましたけれども、特に中学校では、課題がある項目の中で気になるものとして一番初めに書かせていただいています「ケータイ・スマホの時間、3時間未満。」が72.6%ということで、全国と比べるとさらに10.5%低く、全国の状況よりもさらに10%以上この3時間未満の割合が多いというふうに考えていただければと思っております。

ただ、先ほどお話したように、経年でみまますとこの割合は徐々に減ってきていると言えるところでございます。

(4) の調査結果から分かることについて、学校の授業に対する生徒の回答をみると、先生方の丁寧な授業運営がうかがえるという部分があるほか、先ほどもお話ししました平日のテレビ視聴時間、携帯電話・スマートフォンを使用する時間は依然として長いけれども、その差は縮まってきております。

続きまして、5 三浦市 教科調査および質問紙調査の傾向について、ご説明させていただきます。

こちらにつきましては、文部科学省が全国それから三浦市についてクロス集計を行いまして、このように答えた児童・生徒が、例えば平均正答率が高い数値を示しているというようなことの傾向を示したものであるということです。

傾向ということでは言えますが、必ずこの子がこうすれば成績が良くなるとか点数が良くなるというようなものではございません。

主なものとしましては、初めのところに書いてあります生活習慣では、「朝食を毎日食べている。」子の正答率が高いという傾向が示されているというような見方をしていただければと思っております。

以下、そのような見方をしていただきながら、それぞれをご覧くださいと思います。

最後に、5 三浦市の今後の取組について、書かせていただいております。

まず、三浦市生徒質問紙調査の結果と教科の正答率との関係については、相関関係が強くみられた項目について抜粋し掲載させていただきましたが、これにつきましては三浦市・全国と

もに同様の傾向がみられているというものでございます。

全国でこういう傾向があるということは、そのまま三浦市にも当てはまるというようなものでございました。

三浦市の今後の取組については、調査結果から漢字や計算など基礎的・基本的な知識や技能の定着、学力の定着に必要な基本的生活習慣、学習習慣の確立について課題は残っていると思いますけれども、昨年度に比べてずいぶんと改善されてきていると捉えております。

平成 27 年度の調査結果を受け、三浦市教育委員会ではそれぞれの学校の担当者を中心に各校のみではなくて、市内全小中学校合わせて昨年度の調査結果についての分析、それから学校での取組、情報を共有するための情報提供、それから研修というような形を年間 4 回行っておりまして、

この辺についても成果として徐々に表れてきていると思っております。

併せて今年度につきましても同様に、今年度の結果を中心に分析、それから情報の共有等を進めているところでございます。

学校だけでは子どもたちの学習、学力の向上はなかなか難しいところもあり、これまでも保護者・地域へ呼びかけ一体となって生活習慣や学習習慣の改善に取り組んできておりますが、これからもより一層この取組を進めて、子どもたちの学力、学習の状況についてさらに向上させていきたいと考えております。

以上、ご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。

○三壁教育長 ただいま詳細について、報告がございました。

ご質問等ございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 この調査結果は、他の市町も大体同様の内容で結果が出されているのですか。

○五十嵐学校教育課長 近隣市町については、ほぼ同様の形でホームページ等で公開されています。

○曽根委員 これは各学校の平均を出したものだと思いますが、各学校でばらつきはございますか。

○五十嵐学校教育課長 市内それぞれの学校ごとにばらつきはございます。

全体的に正答率が高い学校、全体的に低い学校、また、教科によって高いところ、低いところ、各学校それぞれの特徴がございます。

○曽根委員 これは神奈川県・全国とも公立の学校の比較ですが、私立の学校も同じような調査が行われていますか。

○五十嵐学校教育課長 私立で行っているところもございます。

○曾根委員 そのあたりでの差というのは、比較がちょっと違うとは思いますが、差が出てきているということはあるですか。

○五十嵐学校教育課長 現在、特に私立と公立というようなところで三浦市で特に比較はしておりませんが、今後その辺のところも様子を見ていきたいと思っています。

○松尾委員 例年、この結果を見て自分の学校の子どもたちがどういう状況にあるかという問合せが何件か来ていますか。

それから一時期、三浦市も各学校の成績状況をお知らせしてほしいということもありましたが、それ以後どうなったのか。これが2点目。

3点目は、漢字を正しく読むとか、漢字を正しく書く、あるいは算数の計算、数学の計算、こういう基礎的・基本的なことにやや課題があるというように、この●の内容になっているわけですね。

そこでこのあたりを少し各学校に指導してあげるということにならないのかどうか。

○五十嵐学校教育課長 まず1点目、保護者からの各校への問合せについては、そのような問合せがあった時にはぜひ教育委員会に伝えていただきたいと各校に知らせてありますが、現在のところ、特にこういう問合せがありましたというような報告は受けておりません。

それから2点目につきまして、これまで市内のそれぞれの学校の結果の公表についての開示請求等がございましたけれども、昨年、それから今年、同様の請求は受けておりません。

それから3点目の基本的な部分についての取組でございますけれども、これについては教育委員会としてもかなり重要な部分として捉えております。

特に小学校につきましては、この部分について力を入れて取組を進めているところがあり、そのような学校については徐々に成果が出てきております。

ただ、今回も正直なところ、この漢字の読み書きについては期待していたような結果はなかなか出てこなかったかなというようなところではありますが、取組を進めている学校の状況等を先ほどご説明いたしました。

担当者の会合や研修会等で共有し、このような取組がこういう成果につながっているというような情報を各校で共有するような取組を進めておりますので、この辺については今後さらに進めていきたいと思っております。

○松尾委員 昨年度の学校訪問の時に、学校の研究として、あるいは校長の指針として学校のユニバーサルデザイン化を図る目的で家庭学習を1時間やろうという形で取り組んでいる学校が何校かありました。

家庭学習的なものの時間数をきちんと取ってあげないと、なかなか学力向上に結び付かないということがあったものですから、良い試みだなという話をしてきたんですけれども、そういう学校では成績は上がっているのかどうか。

そのことについて教えてもらえますか。

○五十嵐学校教育課長 家庭学習のノートを作って取り組んでいる学校が幾つかございまして、

それらの学校についての今回の調査の結果等と照らし合わせて私たちも見ておりますが、主なところではやはり成果が出てきていると感じております。

ただ、直接的な因果関係があるのかどうかはわかりませんが、そのような取組をしているところに成果が表れてきているという傾向は捉えております。

○松尾委員 私が学校におりました時には、やはり一長一短、早急にはできないなという感じを実感として持っています。

小手先でという表現が適切でないかもしれませんが、そのことで成績が上がるというのは有り得ないのではないかと。

やはり地道な積重ねが必要なことから、その地道な積重ねをするためには何らかの手立てを打っていかねばいけない。

その打っていく形を今まで教育委員会の中で言ってきました。

九州のある市では、学校以外の地域の先生に来てもらって苦手な数学を克服したとかというお話もしましたが、そういうところの良い例を見習って少し底上げを図っていくなど市としての努力みたいなものも必要な時期になってきているのではないかと思います。いかがでしょうか。

○五十嵐学校教育課長 現在のところ、特に具体的な考えとして持つてはおりませんが、いま社会福祉協議会では、子どもたちの学習のサポートとして退職した先生方が参加していただきながら対応していただいているところを私も実際に見せていただきました。

今後、どのような形が有り得るのかということについては、前向きに考えていきたいと考えております。

○下里委員 2点ほど質問させてください。

まず、図書館の利用率が非常に低いと思うのですが、私自身は市内の図書館に時々足を運んでいるのですが、あまり小学生・中学生は見掛けません。

ですから、学校として図書館を利用する奨励策みたいなことを講じているのでしょうか。

まず1点目はそれがあのかどうかを伺いたい。

2点目は、子どもたちの学力を上げるためには教える側の教師の力の向上が不可欠なんですね。

そのために教師を集めて年間何回かそういう学力向上のための講習会等が開かれているのかどうか。

もし開かれているとしたら、年何回ぐらい行われているのかどうか、教えてください。

○五十嵐学校教育課長 学校側からとして特に市内の図書館に、子どもたちに積極的に利用するようにというような働きかけを具体的には行っておりません。

それがまず1点目でございます。

それから2点目につきましては、特に今年度、神奈川県教育委員会の委託を受ける形で学びづくりの授業に取り組んでいるところです。

こちらにつきましては、県から予算をいただいたものを各校に振り分け、それぞれの学校の

学力向上を中心とした学校の研究の取組として、主なところでは県の教育委員会や大学等から講師を招聘して、それぞれの学校の学力の向上に役立てる取組を各校それぞれ回数は違いますが、けれども行っております。

教育委員会としては、市内各校の取組の内容をまとめてそれぞれの学校に配信して、可能であれば他の学校でも行っている研究の取組にそれぞれの学校の教員が出席できるように配慮をしているところです。

教育委員会として具体的にそれぞれの学校の学力向上のために行っていることは、先ほどお話ししました担当者を集めての年4回の会議と研修会がございます。

○下里委員 三浦半島、特にこの三浦という土地で、割と時がゆったり流れて、そして穏やかな中で子どもたちがすくすくと素直に育っていくという、これは私はとても大事なことだと思うんです。

しかしそれだけでは済まない。

子どもたちのこれからの将来のことを考えると、やはりここは大人がもう少し考えていかなければならない1つの大きなポイントだと思うんですね。

その中で何が大事かという、先ほども申し上げましたけれども、教員の学習に対する力、これがすごい大事だと思います。

ゆったり時が流れる穏やかな三浦で、子どもたちはそれでも良いと思うんですが、教えるべく教員はゆったり穏やかではいけないのではないかと。

大学を出たばかりの若い教員は、本当に大きな希望を持って、子どもたちに最高の教育をしたいという気持ちを持って着任すると思うんですが、段々地域の穏やかな時のゆったり流れるものに自分がはまり込んでしまって、そこから抜け出そうという気持ちがどこかに行ってしまうのではないかという気がするんですね。

だからそういう意味でやはり教育委員会として年何回か、例えば予算がかかるかもわかりませんが、塾から1人講師に来てもらって、小学校も中学校も先生方が勉強する機会があっても良いのではないかなと思うんですね。

塾が無くならないのは何故かと考えると、公立私立問わず学校の先生たちのどこか足りない部分を彼らは持っていると思うんですね。

そういうノウハウをちゃんとしっかり捕まえて、それを子どもたちに還元できるというそういう機会を作ったら良いのではないかと思ったわけです。

○三壁教育長 先ほどの教員の研修や学びづくり等について、いま手元には実績の資料がないと思うけれども、先生方が年間通して、例えば部会にしても学校ごとにしても、三浦市独自であるいは県が主催する事業や湘三教育事務所が主催する事業など各種あると思うので、それらについてまとめておいていただいて、例えば10月の定例教育委員会で報告ができるようにぜひしておいてください。お願いします。

○五十嵐学校教育課長 はい、わかりました。

○松尾委員 いまの下里委員の質問を受けてですけれども、三浦市は従来から学校研究が盛ん

で、三浦半島の中でも横須賀や葉山や逗子などと比べて非常に研究熱心な市でした。

しかも学級の学習についての技術的な向上のレベルはかなり高いものがあったと私は思っています。

ただ、何年かずっと経過をみてきて、学級をしっかりと固定して学校を盛り上げていったとしてもなかなかそれが資質の向上につながってこなかったという反省が私にもすごくあります。

だから何かの方法を編み出していかなければいけないということが教育委員会に来てからの1つの課題でした。

それをずっと一貫して今まで言ってきましたけれども、なかなか一朝一夕にはできないこともわかっています。

学校教育課長のご苦労もよくわかります。

ややこういうことで成績の実態ばかりが出てくると、各学校の状況が気に掛かってくるのが人の心で、学校間の競争等の論議が出てくる前に何らかの手立てを打っていかなければいけないというそういう思いで私はいつもいるものですから、そこらあたりでご苦労は重々わかりながら、ぜひとも声を上げていかなければいけないと思っていますので、よろしく願います。

○菊池教育長職務代理 質問というよりも私の感想をちょっと述べさせていただきます。

調査結果を踏まえますと、課題が幾つか浮かび挙がってきているわけなんですけれども、やはり家庭での指導、親の取組というのが重要ではないかと思います。

生活習慣がきちんとできた子どもは正答率が高いということが書いてありますように、やはり家庭での生活と学習というのが結び付いているのではないかと思います。

また、学校全体の取組をこれからも一層努力してやっていただきたいということと、先生の質の向上ですね、これも先ほどから出ておりますけれども、一層の向上をお願いしたいと思います。

そして差が縮まっているとのことですので、今後、三浦市の学習が向上していくことを期待しております。

○三壁教育長 先ほど下里委員から図書館に通っている児童生徒についてのお話がありましたが、いま答えられますか。

もし無理なら、次回までにデータをまとめて結果が出たら10月に報告してください。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 はい、わかりました。

○三壁教育長 他にございますか。それでは先に進みます。

それでは、次第6「その他の事業について」に入ります。

(1)第46回三浦市学校保健大会の開催について、説明をお願いします。

○五十嵐学校教育課長 それでは、資料10ページ、資料No.4をご覧ください。

第46回三浦市学校保健大会 子どもの健康を考えよう でございます。

日時 平成28年10月27日(木)、13時30分から15時となっております。

今年度につきましては、日程のところにございますように、講演といたしまして三浦市薬剤師会代表の佐藤周一先生に「菓の授業」ということで、ご講演をいただくことになっております。

主に学校関係、PTA、それから学校の教員を対象に行わせていただくものでございます。よろしければぜひご参加いただければと思います

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 主催が学校保健会と三浦市教育委員会ということなので、教育委員さんに案内状は出しますか。

○五十嵐学校教育課長 お渡しをするようにいたします。

○三壁教育長 他によろしいですか。それでは次にまいります。

(2)三浦市指定重要無形民俗文化財「第42回いなりっこ発表会」の開催について、(3)神奈川県指定無形民俗文化財「菊名の飴屋踊り」奉納上演について、(4)第62回三浦市文化祭の開催について、(5)第38回市民スポーツ大会の開催について及び(6)第62回三浦市総合体育大会の開催については文化スポーツ課の事業ですので一括して説明をお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 まず、次第の6 その他の事業についての(2)三浦市指定重要無形民俗文化財、第42回と記述がございますが、第44回の間違いでございます。

恐縮ですが訂正をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、議案・資料の11ページ、12ページをお開きいただきたいと思います。

資料No.5「第44回いなりっこ発表会」でございます。

いなりっこは、平成14年4月1日、三浦市指定重要無形民俗文化財に指定されておりまして、三浦いなりっこ保存会により三浦市の郷土芸能として継承されています。

地域社会の生活から生まれました素朴な郷土芸能、海南神社の面神楽、これもやはり三浦市指定重要無形民俗文化財でございますが、この面神楽の子ども版とも言われておりまして、子どもたちが郷土芸能に触れ、三浦の伝統や文化を受け継ぐとともに、練習の中から青少年の健全育成及び仲間づくり、協調性を深める機会にもなっております。

本年度は10月2日（日）、うらり内にございます三浦市民ホールで13時より開演となっております。

ご都合の付く委員さんがいらっしゃいましたら、足をお運びいただけたらと思っております。続きまして、議案・資料の13ページをお開きください。

資料No.6「菊名の飴屋踊り」奉納上演についてでございます。

菊名の飴屋踊りは、昭和30年11月1日に神奈川県指定無形民俗文化財に指定され、菊名あめや踊り保存会により保存伝承に努められております。

菊名あめや踊り保存会が主催、菊名区が後援、教育委員会が協力という形になっております。

今年度の菊名の飴屋踊りは10月23日（日）午後7時から9時まで、菊名区民会館、旧菊名児童会館でございます。

その前の広場特設会場で開演となりますので、こちらの方にもご都合が付く委員さんがいらっしゃいましたら足をお運びいただけたらと存じます。

続きまして、当日配付資料の方でございます。

当日配付させていただきましたカラー両面刷りの資料No.7でございます。

第62回三浦市文化祭の開催についてでございます。

三浦市文化祭は、三浦市文化連盟に加盟している各団体が趣向を凝らし、10月から12月にかけてそれぞれ個別に展示会を開催しております。

10月8日、南下浦市民センターの盆栽の展示から始まりまして、12月4日、第16回市民のためのクリスマスコンサートまでの期間で、チラシに記載の各内容で、各加盟協会団体が日頃の作品などを発表展示いたします。

資料に各催事の開催日時、場所等を記載しておりますので、ご覧いただきまして、お時間の許す範囲でご参加いただければと思っております。

続きまして、第38回市民スポーツ大会の開催についてでございます。

裏面の資料No.8でございます。

平成28年度第38回になります市民スポーツ大会の開催についてでございます。

本年度の市民スポーツ大会につきましては、三崎地区は旧三崎中学校、南下浦地区は南下浦中学校、初声地区は初声小学校で、3地区ともに10月9日（日）に開催させていただきます。

三崎地区と南下浦地区は9時半、初声地区においては9時に開会式を予定しております。

委員の皆様にはご参加のご案内状を送付させていただきますので、皆様におかれましては、ご都合の付く範囲内でご来場、ご観戦いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、議案・資料の14ページでございます。

資料No.9 第62回三浦市総合体育大会の開催について、ご報告させていただきます。

三浦市総合体育大会につきましては、三浦市体育協会に加盟されております19の各種目協会が主管をしております、この9月から来年の3月にかけて、それぞれの協会が主管をして各競技会を開催いたします。

資料に各種目の開催日時、場所等を記載しておりますので、後ほどご覧いただきまして、お時間の許す範囲内で参加やご観戦をお願いできたらと思います。

文化スポーツ課関係の5項目について、以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 飴屋踊りについて関係する者として補足説明させていただきます。

資料6に書いてありますように、現在練習を行っております、火曜日と木曜日の7時半から行っております。

南下浦小学校へ6月頃チラシを配りまして、子どもたちに参加していただいております。

いま子供たちが20名、大人が19名で、夜集まって練習に励んでいるという状況でございます。

やはりいなりっこと同じように、子どもたちがやっていかないと継続していきませんので、何とか子どもたちを中心にして、お母さん方も指導者としてやっておりますので、今後とも継

続したいと思っております。

○三壁教育長 第38回市民スポーツ大会について、これまでと変わった点を説明してください。

○堀越文化スポーツ課長 今年度変わった内容といたしましては、3地区ともプログラム編成委員さんとの打合せの回数を1回増やしまして、参加し易い種目と開催時間を絞りましたので、例年に比べて開催している時間が各会場で1時間程度減っております。

○三壁教育長 1時間減っているというのは、三崎地区と南下浦地区の開始時間が9時30分で初声地区が9時と違いますが、終了時間は14時15分で3地区一緒ということで調整したのですね。

○堀越文化スポーツ課長 はい、調整いたしました。

○三壁教育長 他にございますか。それでは先に進みます。

(7)第52回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催について、説明をお願いします。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 それでは、青少年教育課より三浦市青少年問題協議会地区大会の講演会について説明いたします。

議案・資料15ページの資料10をご覧ください。

三浦市青少年問題協議会では、毎年青少年の指導育成に関して、市民の皆さんとともに考える場として講演会を開催しております。

今回は、講師に神奈川県警察本部少年育成課少年相談・保護センター主幹の田原ともえさんをお迎えし、「インターネット利用に伴うリスクから青少年を守るには」と題して講演をいただきます。

開催日時は11月5日(土)13時30分から15時まで、会場は南下浦市民センター2階の講堂となっております。

開催の概要及び申込みの方法については資料のとおりとなっております。

委員の皆さんには後日ご案内状を送付いたしますので、ご都合が付くようでしたらぜひともご参加いただきたいと思いますと考えております。

青少年問題協議会の地区大会講演会の開催概要については以上です。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 それでは、次に、(8)第37回南下浦市民センター公民館フェスティバルの開催について及び(9)三浦市社会教育講座「肩こり・腰痛すっきり体操講座」の開催について、南下浦市民センターの事業ですので、一括で説明をお願いします。

○小川南下浦市民センター館長 それでは、南下浦市民センターから公民館フェスティバルと社会教育講座の開催について説明申し上げます。

まず、16 ページの資料 11 と見開きになっておりますチラシをご覧ください。

「ひろげようふれあいのわ」をテーマに、第 37 回南下浦市民センター公民館フェスティバルを 10 月 22 日（土）から 10 月 30 日（日）までの 9 日間、開催いたします。

初日と最終日は終了時間が異なりますが、基本は 9 時から 17 時となっております。

音楽、踊り、作品展示、体験教室のほか、今回から三浦市小中学生の読書感想文の展覧も行います。

次に資料 12 になります。17 ページをお開きください。

特に中高年になると腰痛、肩こりに加え五十肩、坐骨神経痛、手足のしびれ等の症状が表れ、悩みの声が多く聴こえることから、「肩こり・腰痛すっきり体操講座」を 11 月 8 日（火）と 15 日（火）、いずれも 13 時 30 分から 15 時まで開催いたします。

講師は、背骨コンディショニング協会パーソナルトレーナーであります須藤孝氏でございます。とても評価が高い講座でございます。

定員は 30 名としております。

受講料は無料でございます。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 ないようですので、先に進みます。

次に、(10)第 35 回初声市民センターまつりの開催について及び(11)三浦市社会教育講座「歴史講座」～明治・大正期の三浦～ の開催については初声市民センターの事業ですので、一括で説明をお願いします。

○見上初声市民センター館長 18 ページ、資料 13 の初声市民センターまつりについて説明いたします。

センターを利用しているサークルが日頃の活動成果を発表し、サークル間や地域住民との交流を図る場として開催いたします。

開催日は、10 月 15 日（土）から 11 月 6 日（日）までで、今回で 35 回目を迎えます。

テーマは「深めよう 地域のきずな」であります。

参加するサークルは 28 団体で、作品の展示、教室の開催、音楽やダンスの発表を行い、その他にもフリーマーケット、着物のリサイクル、本のリサイクル市、小中学生の読書感想文展覧会を行います。

日によって内容や開催時間が異なりますが、全体のスケジュールは次のページのカラー刷りのようになっております。

お時間がありましたら、ぜひいらしてください。

続きまして、19 ページ、資料 14 の「歴史講座」について説明いたします。

この講座では、三浦市の明治・大正時代の生活・経済・政治を学びます。

開催日時は、10 月 28 日（金）、午後 7 時から 9 時までで、初声市民センターで行います。

講師は、郷土史家で横須賀市開国史研究会会長であります山本詔一さんです。

定員は 30 名、受講料は 200 円です。

10月号の広報紙「三浦市民」、市のホームページ、チラシで周知いたします。
以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 歴史講座の山本先生の謝礼ですけれども、おいくら支払っていますでしょうか。

○見上初声市民センター館長 講師謝礼は無料でございます。

○三壁教育長 よろしいですか。それでは先に進みます。
次第7 その他に入りたいと思います。
まず、教育総務課長から説明をお願いします。

○増井教育総務課長 現在、曾根委員さんにおかれましては、教育に関する見識をお持ちの方として、教育委員としての立場で三浦市総合計画審議会委員にご就任いただいております。
三浦市総合計画は見直しの真っ最中でございまして、策定計画作業の最終段階に入っております。

曾根委員さんにつきましては、9月30日をもって任期満了をお迎えになられまして退任されますが、現在の三浦市総合計画の見直しの検討期間、具体的には10月開催予定の次回審議会までにつきましては、審議の継続性を考慮しまして、引き続き審議会の委員として、教育委員に準ずる方としての立場でご活動いただくことをお願いしたいと思っております。
ぜひ教育委員の皆様のご了承をお願いいたします。

○三壁教育長 ただいま教育総務課長から曾根委員の総合計画審議会委員に関する説明がありましたが、これまでは教育委員の立場で職にあったこと。
そして、次の審議会までということで、まずは教育委員さんの皆さんにお諮りして、それで引き続き、曾根委員さんにはご苦勞をお掛けしますけれども務めていただくということでよろしいですか。

(菊池教育長職務代理・松尾委員・下里委員 了承)

○三壁教育長 それではよろしくをお願いいたします。

○曾根委員 はい。

○三壁教育長 他に委員の皆さん、何かございますでしょうか。
なければ私の方から、冒頭で菊池職務代理の話をさせていただきまして、28日の議会最終日に退任し、そして再任というお話をさせていただきました。
教育委員会新制度では、教育の継続性等の観点から、教育委員が退任する時期に1年で2人

以上の委員さんが退任することのないように配慮しなければなりません。

その中で今回お2人が退任されますが、菊池委員にはぜひお願いしましてさらに1年間という期限付きでの再任、そして曾根委員は任期満了ということで退任でございます。

この後1年、職務代理には大変恐縮なんですが、1年という任命期間で、その後新たに選任されることになります。

これも市長・議会の方にご了解を、菊池職務代理にはご理解をいただいておりますので、今後は、1年ごとに1名の委員さんが交代していくということでございますので、ご報告までに。

ということで、教育長の任期は3年、教育委員さんの任期は変わりなく4年ということで、どうぞよろしくお願いいたします。

○三壁教育長 他に委員さんの方から何かございますか。

(発言等なし)

○三壁教育長 ないようでしたら、これを持ちまして、平成28年第9回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

◇ 午前11時22分 閉会 ◇
